



オンライン
受講限定



JPI (日本計画研究所) 主催
第 15662 回 JPI 特別セミナー

国立研究開発法人 **新エネルギー・産業技術総合開発機構**

CO2 排出量削減と有用化学品製造の現状、課題とあるべき姿

～CO2 資源化のキー化合物 CO2 資源化の筋の良い技術、悪い技術～

講師



国立研究開発法人 **新エネルギー・産業技術総合開発機構**
技術戦略研究センター (TSC)
環境・化学ユニット フェロー
中部大学 先端研究センター 特任教授
三井化学株式会社 シニア・アドバイザー

ふじた てるのり
藤田 照典

(敬称略)

開催日時 ▶ **2021年 10月29日(金)** 午前9時30分～午前11時30分 (開場：午前9時)

会場 ▶ 会場受講はございません ライブ配信受講▶セミナー開始時間の30分前よりログインいただけます。

民間参加費 ▶ 1名 33,750 円 (資料代・消費税込)
2人目以降 28,750 円 (社内または関連会社で同時お申込みの場合)

行政参加費 ▶ 国家公務員・地方自治体職員の方は、1名 16,500 円 (資料代・消費税込)。
その他 ▶ 本セミナーは、ライブ配信受講又は、アーカイブ配信受講限定です。
参加お申込みはホームページからお願いいたします。

講義概要・項目

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするというのが日本の目標である。目標達成には、再生可能エネルギーの導入に加えて、CO2 排出量の削減(省エネ)とCO2の資源化(再資源化)の両方の革新技术が求められる。CO2の資源化を目的とする技術開発は活発に行われているが、中には筋が良くないと思われるものも含まれている。本講演では、化学品の製造に焦点を当てて、CO2の排出量の削減とCO2を原料とする有用化学品の製造について現状と課題、将来のあるべき姿を紹介したい。

1. 化学品製造の現状と今後
2. 化学産業におけるCO2の排出
3. CO2 排出削減への化学産業の貢献
4. CO2を原料とする化学品の製造
5. まとめ
6. 関連質疑応答

【講師略歴】

1982年 北海道大学大学院理学研究科修士課程修了	2011年 President & CEO, Mitsui Chemicals Singapore R&D Centre Pte. Ltd., Singapore [三井化学(株)執行役員]
1982年 三井石油化学工業(株)[現 三井化学(株)]入社	2014年 三井化学(株)シニア・リサーチフェロー、特別研究室長
1988年 L'Université Louis-Pasteur de Strasbourg (France) PhD	2020年 特別参与
1991年 プロジェクトリーダー(基礎化学品製造技術開発)	2021年 三井化学(株)シニア・アドバイザー、
1996年 プロジェクトリーダー(機能性材料開発)	中部大学・先端研究センター特任教授、
2001年 研究主幹(～2007年)	新エネルギー・産業技術総合開発機構[NEDO]フェロー、
2005年 触媒科学研究所長(～2009年)	産業技術総合研究所[AIST]客員研究員
2008年 執行役員 袖ヶ浦センター長(～2010年)	
2009年 取締役 研究本部担当	

